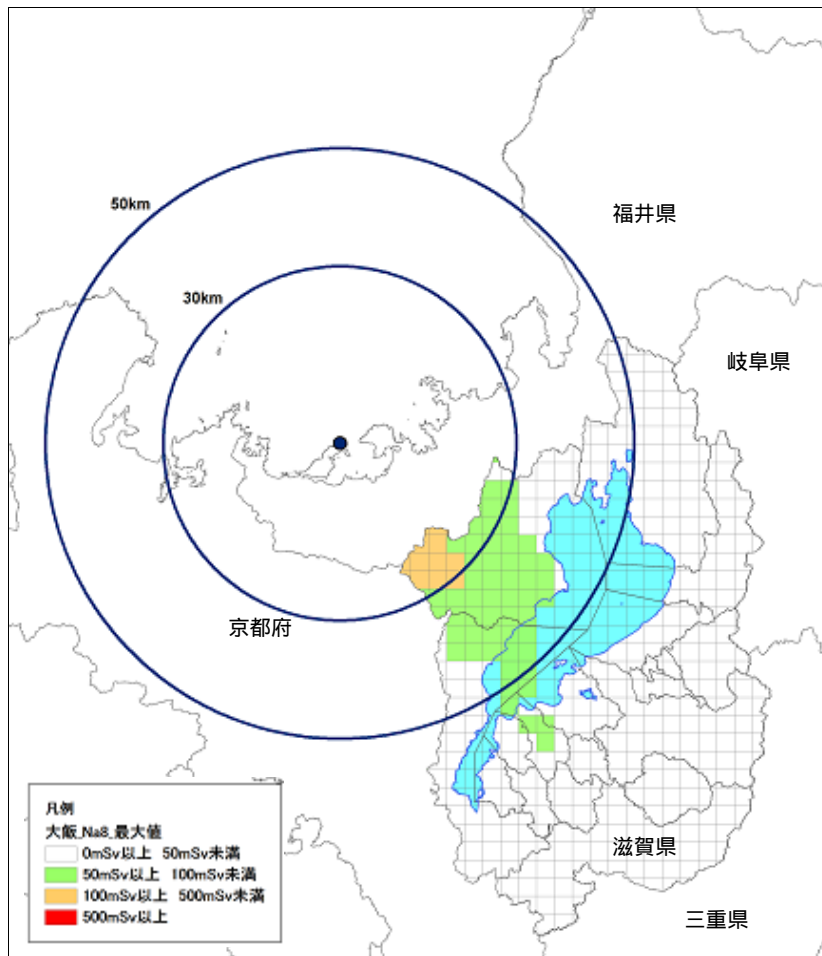


大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 最高濃度分布図（大飯発電所）
 甲状腺被ばく等価線量



拡散予測前提条件

放出量 : ヨウ素 2.4×10^{16} Bq
 (福島第一原子力発電所 3月15日7時~17時の推定放出量は 2.2×10^{16} Bq)

放出時間 : 6時間

排出高さ : 第3層(約44m~73m)

放出想定発電所 : 関西電力大飯発電所

シミュレーション日の選定方法 :

2010年のアメダスのデータを基に、滋賀県に影響が大きくなると考えられる日を設定する。
 選定方法は以下に示す。

- ・北の風(西北西~東北東)が長時間になる日
- ・風速が緩やかな日

上記にあてはまる日を1か月に5日(年間60日)抽出し、さらに抽出した日から滋賀県に影響が大きい日を1か月に3日(年間36日)抽出し大飯発電所からの拡散のシミュレーションを行った。

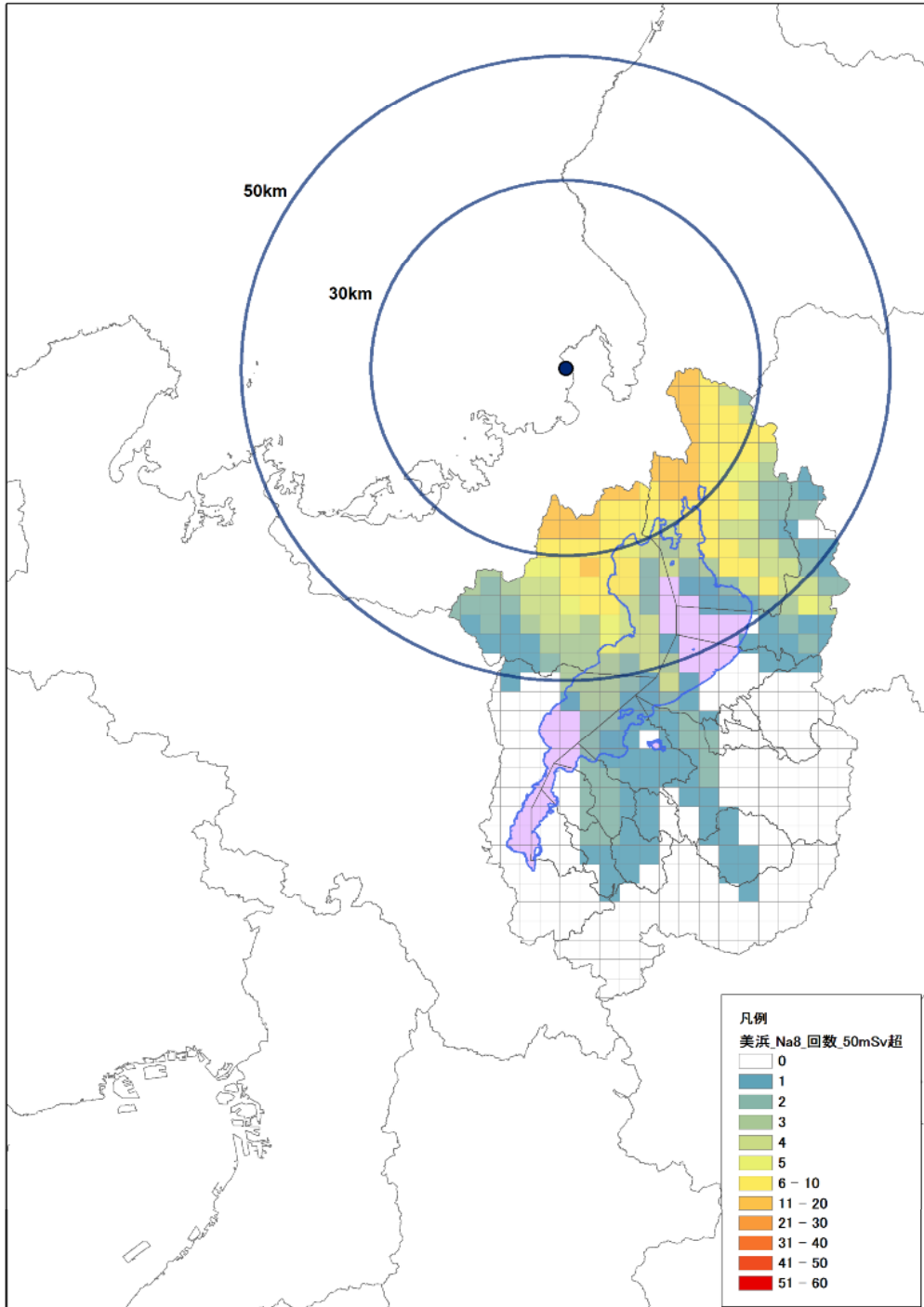
積算線量の計算方法 :

第1層の濃度を用いて計算を行い、1時間ごとの被ばく線量を計算し、24時間分を積算。

屋外・屋内滞在時間 : 屋外8時間 屋内16時間

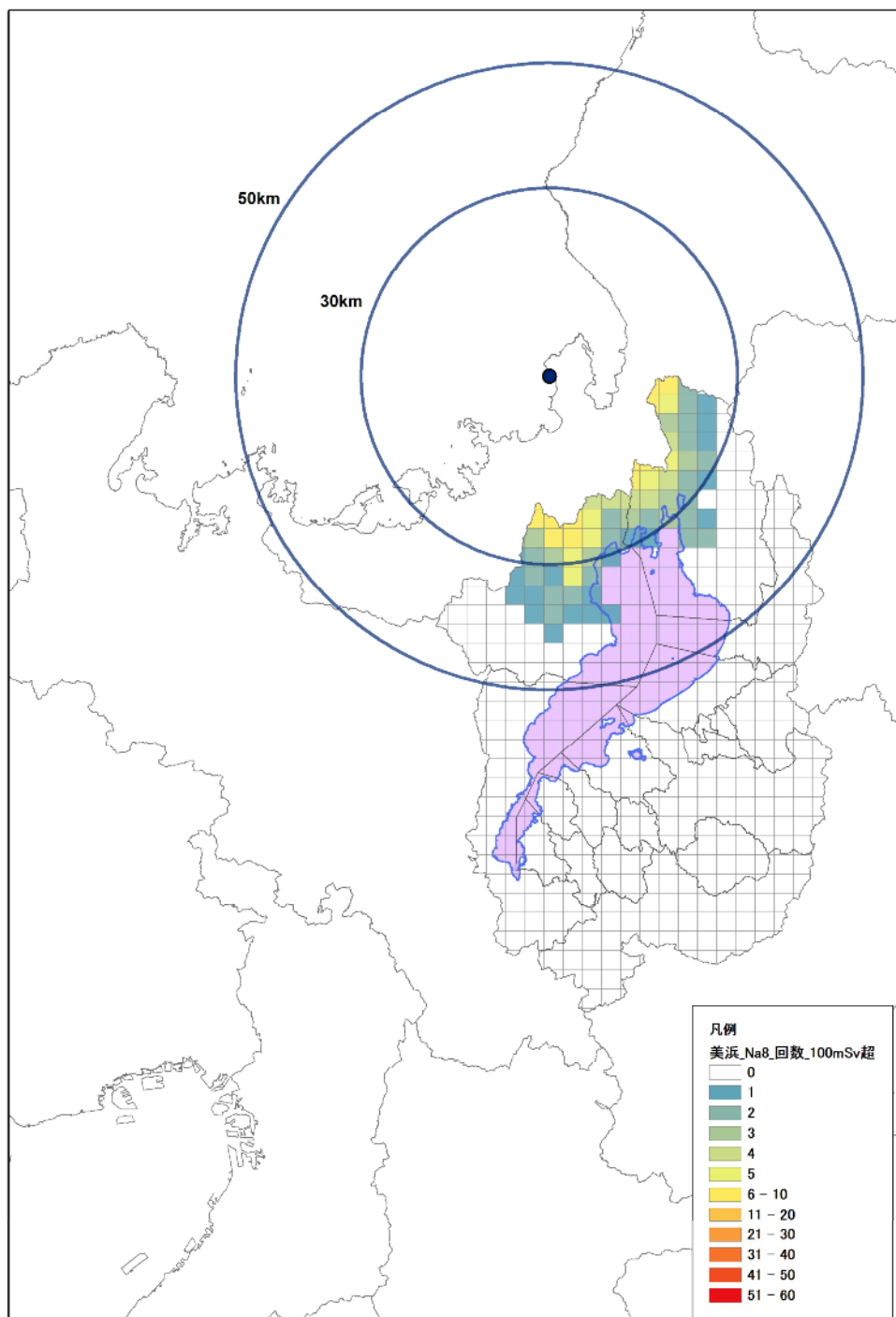
図示方法 : 36ケースのシミュレーション結果から、最高濃度となる区域の分布を示した。
 (他府県は除く)

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
基準超過出現回数分布図（美浜発電所）(50mSv以上)
甲状腺被ばく等価線量



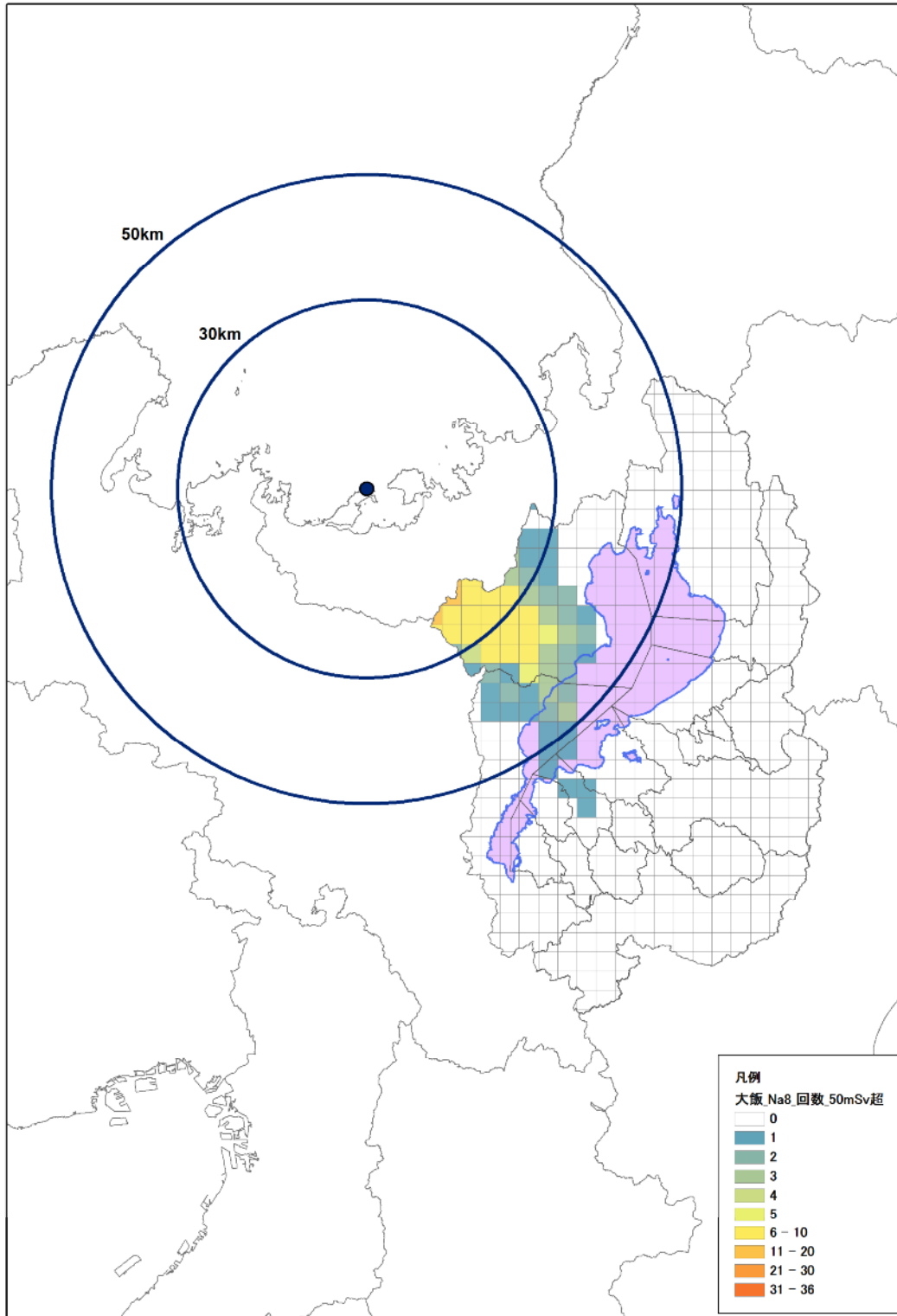
60 ケース分において、甲状腺被ばく等価線量 50mSv 以上になる回数を図示した。
(他府県は除く)

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 基準超過出現回数分布図（美浜発電所）（100mSv以上）
 甲状腺被ばく等価線量



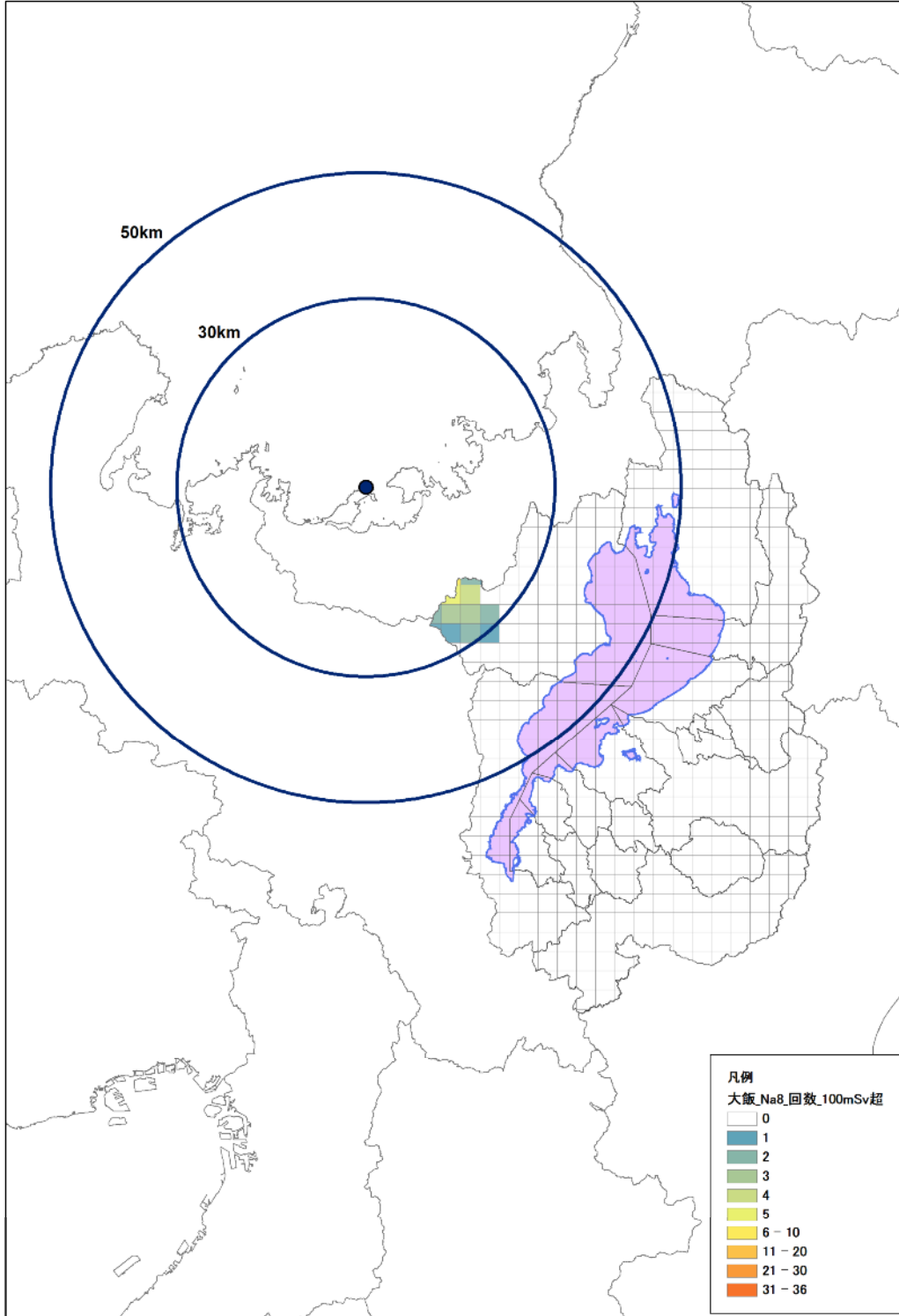
60 ケース分において、屋内退避の基準以上(甲状腺被ばく等価線量 100mSv 以上)になる回数を図示した。(他府県は除く)

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
基準超過出現回数分布図（大飯発電所）（50mSv以上）
甲状腺被ばく等価線量



36 ケース分において、甲状腺被ばく等価線量 50mSv 以上になる回数を図示した。（他府県は除く）

大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測
 基準超過出現回数分布図（大飯発電所）(100mSv以上)
 甲状腺被ばく等価線量



36 ケース分において、屋内退避の基準以上(甲状腺被ばく等価線量 100mSv以上)になる回数を図示した。(他府県は除く)